

関孝和先生は、行列式を世界に先駆けて発見するなど、算聖と称され日本が世界に誇るべき江戸時代の数学者（和算家）で、宝永5年10月24日（西暦1708年12月5日）に物故せられました。

西暦2007年12月5日（水）は三百年忌にあたりますが、数日繰上げ12月2日（日）にお墓のある東京都新宿区弁天町の浄輪寺において法要を営むことになりました。午後には、東京理科大学神楽坂キャンパスにおいて、「関孝和先生三百年忌を機会に日本の数学力を考える会」を開催します。西暦2008年には三百年祭としていろいろな事業を開催する準備をしており、その準備状況の報告などもあります。

なお、浄輪寺から東京理科大学神楽坂キャンパスへ、関孝和先生の兄上にあたる内山七兵衛永貞の貞享・元禄時代の家があったことが確実な場所（大久保通りに面している）現牛込警察署の裏手側の部分を経由して歩いておよそ45分で行くことができます。

関孝和三百年祭記念事業実行委員会

## 記

### 関孝和三百年忌法要

**日時：2007年12月2日（日）10：30受付開始、11：00より読経を始めていただき、参列者の方々には、一方通行にて、ご位牌、旧記念碑、墓をお参りしていただくことを予定しております。**なお、浄輪寺における資料調査をおこない、資料集を作成しました。参列者の方々に配付いたします。

**場所：東京都新宿区弁天町95 浄輪寺**、境内は狭いので、一方通行路を考え混乱しないように配慮いたしますが、くれぐれも参列者の方々のご協力をお願いするものです。

なお、ご芳志を受けます。また、三百年祭記念事業に対して募金をお願いしております。

**交通情報：**東京メトロ東西線早稲田駅から徒歩約8分または神楽坂駅から徒歩約9分、都営大江戸線牛込柳町駅から徒歩約5分または牛込神楽坂駅から徒歩約12分、都営バス牛込弁天町バス停から徒歩約1分

### 関孝和先生三百年忌を機会に日本の数学力を考える会

1. 共通図録「関孝和の人と業績」および「浄輪寺調査資料」の紹介等  
—関孝和先生に関する定説から最新研究資料まで—
2. 日本の数学の現状および将来について  
—記念事業賛同学協会の指名実行委員等（敬称略、五十音順に、上野健爾、小寺裕、澤田利夫、長岡亮介、浪川幸彦、野崎昭弘、藤田宏）が日本の数学の研究、あるいは教育の現状および将来について語ります。若干の意見交換も予定。—

### 3. 2008 年度事業の計画予定報告等

—記念事業は 2008 年に博物館展示などいろいろ行われます。その準備状況等の報告—

日時：2007 年 12 月 2 日（日）14：00～16：30

場所：東京理科大学神楽坂キャンパス 1 号館 17 階記念講堂

交通情報：JR 総武線飯田橋駅西口から徒歩 4 分

東京メトロ東西線または有楽町線飯田橋駅 B3 出口から徒歩約 3 分

都営大江戸線飯田橋駅 B3 出口から徒歩約 7 分、牛込神楽坂駅から徒歩約 14 分

#### 浄輪寺、牛込警察署、東京理科大学神楽坂キャンパス 1 号館の地図



なお、賛同学協会指名の実行委員は次の方々（敬称略）です。

日本数学史学会 佐藤健一、小寺裕 他多数の方々（募金発起人名簿参照）

日本数学会 河澄響矢、高橋秀裕、真島秀行、松本堯生、渡辺純成

日本数学教育学会 澤田利夫、杉山吉茂、中原忠男

数学教育協議会 野崎昭弘

数学教育学会 長岡亮介

日本応用数理学会 藤田宏（補佐役 岡本久）

日本数学協会 [連絡員として真島秀行、（既に懸賞問題提出（上野健爾、小川東）]

また、博物館展示については、新宿区立新宿歴史博物館および東京理科大学近代科学資料館は佐藤健一、増田和彦、柴原英雄、なにわの海の時空館は小寺裕、東京都江戸東京博物館は、山司勝紀、国立科学博物館は、日本数学会指名実行委員および小林龍彦、飯高茂、三宅克哉、が主となって準備中です。国際研究集会は、小松彦三郎らが準備中です。

最新情報は日本数学会ホームページ<http://wwwsoc.nii.ac.jp/msj6/>に掲載していただく予定です。

（文責 佐藤健一、真島 秀行）